



大多喜町ため池ハザードマップ

お問い合わせ 大多喜町役場 農林課 0470-82-2535

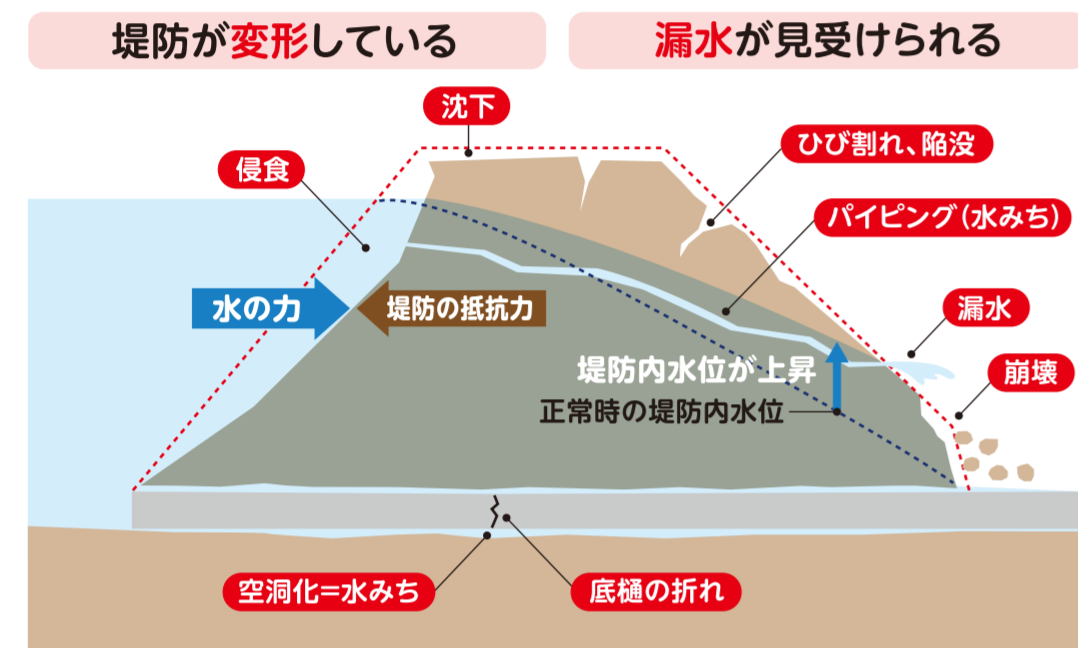
お問い合わせ
大多喜町役場
農林課
0470-82-2535

ハザードマップの目的

大地震や大雨などにより、農業用ため池の堤防が決壊した場合に対する地域住民の避難や防災対策等の検討と被害を軽減するため、浸水想定区域や浸水時の避難方法など各種情報を記載した「ため池ハザードマップ」を作成し、地域の防災活動及び住民への防災啓発と周知を図ることを目的としたものです。

ため池が危険なとき

ため池の決壊は、大地震や大雨・ため池の老朽化により発生する可能性があります。



●大地震のとき

大地震では、堤防に亀裂や漏水・沈下が生じる可能性があり、強度低下により水圧に耐えきれず決壊することがあります。また、その後の余震で決壊することがあるため注意が必要です。

●大雨のとき

集中豪雨や長雨により、ため池の水位が上昇し堤防に浸透する水の量が増え、ため池決壊の危険性が高まります。また、流木などによりため池の余水吐が塞がれるとため池が満水となり水が堤防からあふれ出し、堤防が侵食され決壊に至るおそれが更に高まります。

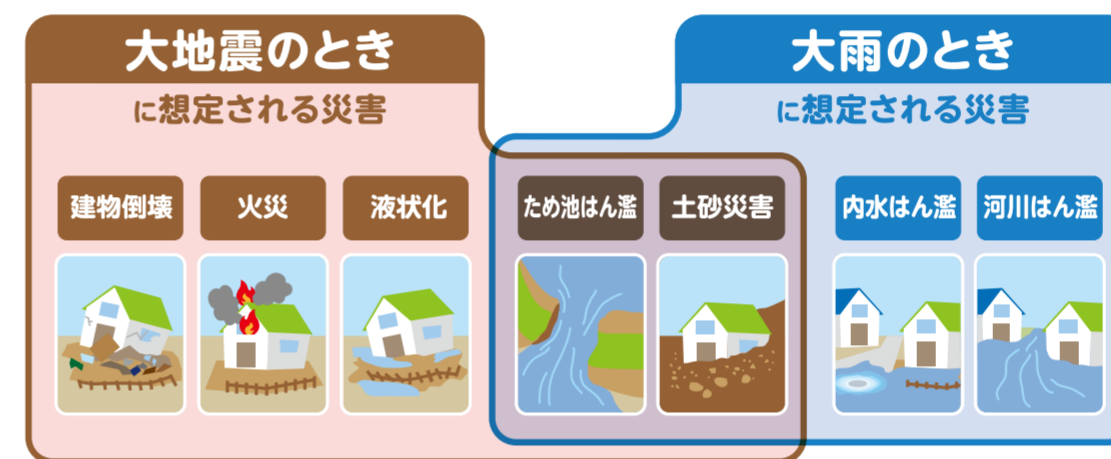
避難をするときに注意すること

●ため池決壊以外の災害も意識する

ため池が決壊している状況では、周辺で下図のような災害も発生しているおそれがあることに注意して避難してください。

●危険な場所は避ける

避難時は安全な広い道を選ぶようにし、できるだけ狭い道や堀ぎわ・河川や水路の近くなどは避けてください。



●浸水し始めたら無理をしない

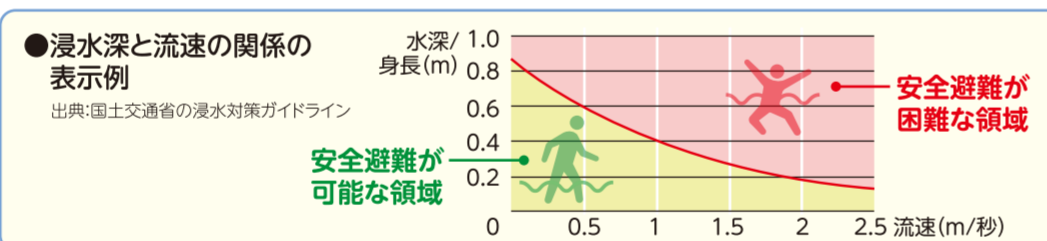
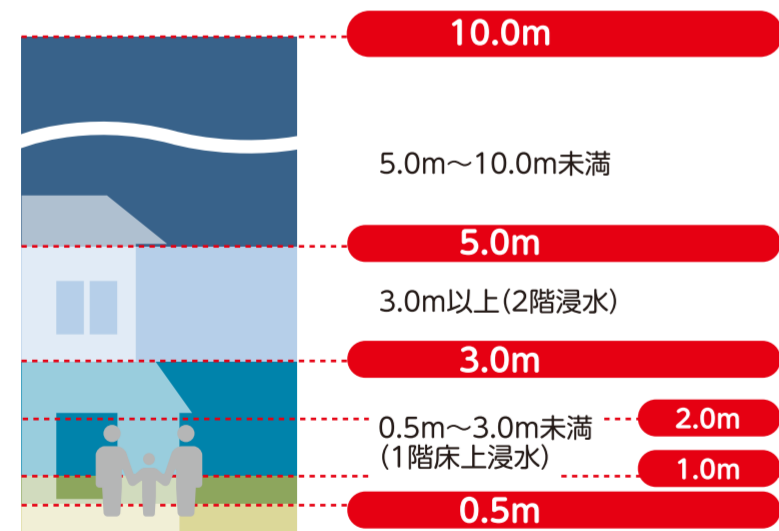
歩ける水深の目安は、ひざ位までです。水深が浅くても流れが速くなると大変危険なので、無理な移動は避けてください。

●屋内安全確保

浸水が早く逃げ遅れたときは、無理をせず自宅の2階や近くの頑丈な高い建物に避難してください。

浸水深による分類の目安

●浸水深の目安



浸水の目安	流速との関係
2階の軒下まで浸水する程度	避難不可能
2階の床下まで浸水する程度	避難不可能
1階の軒下まで浸水する程度	避難不可能
大人の腰までつかう程度	流速が0.5m/秒を超えると避難不可能
大人の膝までつかう程度	流速が1.5m/秒を超えると避難不可能

ため池ハザードマップの活用方法(急な事態へ備えましょう)

●想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。

自宅などの場所を確認し、周辺の浸水の深さや氾濫水の到達時間を確かめましょう。



●避難場所や避難経路を考えましょう。

浸水の深さや氾濫水の到達時間を基に、どこへ避難するかを決めておきましょう。避難場所まで安全に避難できる経路を考え、実際に歩いて移動時間を確認しておきましょう。

●日頃から家族や地域で話し合しましょう。

災害時に互いが協力し合えるよう、日頃から家族や地域で役割などを話し合しましょう。避難するとき、配慮が必要な人への情報伝達方法などを決めて確認しておきましょう。

●防災情報の入手方法を確認しましょう。

ため池決壊の要因となる大雨や地震の情報や避難情報を素早く入手できるように、入手方法を確認しておきましょう。自動的に防災情報が配信されるサービスもありますので、活用しましょう。(防災情報メール、防災アプリなど)

非常時持出品リスト (準備ができれば□にチェックを入れましょう)

●避難時に持ち出す必要最低限のものをまとめ、すぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。

重さは成人男性で15kg、女子で10kg程度までを目安とし、避難時に両手が使えるようリュックサックタイプのものを使用しましょう。

- 貴重品 懐中電灯 携帯ラジオ 応急医療品 ハザードマップ
- 非常用食品・飲料水 生活用品
- ・火を通さずに食べられるもの(乾パンや缶詰など)
- ・レトルトのおかず
- ・離乳食・粉ミルクなど
- ・衣類、タオル、マスク
- ・おむつなどの衛生用品(ウェットティッシュ・洗面用具・生理用品など)
- ・その他(軍手・ゴミ袋・携帯電話の充電器など)



わが家の防災メモ

わが家の避難場所	
家族の集合場所	
緊急時の連絡先	
かかりつけの病院	

